



2023年3月8日

株式会社CSSホールディングス  
代表取締役社長 水野 克裕  
(コード番号：2304 東証スタンダード)

## 2023年9月期 第1四半期決算説明に関するお知らせ

当社は、2023年2月14日に発表いたしました、2023年9月期第1四半期（2022年10月～2022年12月）決算に関する決算補足説明について、ご説明資料を作成いたしましたのでお知らせいたします。

また、当社コーポレートサイトにて、代表取締役社長水野克裕より詳しくご説明をしております動画を公開いたしました。是非下記リンクよりご視聴ください。

<https://www.net-presentations.com/2304/20230307/bsieur/>

なお、2022年12月14日の投資家向け説明会資料で、2022年9月期の決算及び中期経営計画『Value Innovation 2024』（2022年9月期～2024年9月期）の進捗状況等についてご説明しています。こちらも合わせてご参照ください。

【2022-2024年CSSグループ中期経営計画 初年度の振り返りと今後の見通し—Value Innovation 2024】

<https://www.css-holdings.jp/ir/plan.html>

### <会社情報>

会社名：株式会社CSSホールディングス  
所在地：東京都中央区日本橋小伝馬町10-1  
代表者：代表取締役社長 水野克裕  
URL：<https://www.css-holdings.jp/>

### <本件のお問い合わせ先>

株式会社CSSホールディングス 経営企画室

2023年9月期 第1四半期  
(2022/10-12)

# 決算説明資料

2023年3月  
株式会社CSSホールディングス

# 中期経営計画「Value Innovation 2024」

経営基盤の再構築とともに、経営ビジョンと近未来への成長戦略をブラッシュアップし、次期計画期間中の当期純利益3億円、ROE10%以上の目標に向けた成長を加速させてまいります。

## 目標達成に向けた取り組み

- ▶ 基軸事業の強化による収益力の向上
- ▶ 人材育成の強化
- ▶ ESG課題への取組み推進
- ▶ 価値創出（グループシナジーや外部リソース活用）



2024年  
創立40周年

22/9期  
▼  
24/9期

経営基盤の再構築

25/9期  
▼  
27/9期

当期純利益 3億円  
ROE 10%以上

経営ビジョン  
+  
近未来への成長戦略

20/9期  
▼  
21/9期

コロナ禍による  
成長戦略の見直し

## Value Innovation 2024

2024年9月期 目標財務指標

売上高	当期純利益	ROE
150億円	2.5億円	8%以上

## 目次

■ 決算ハイライト	p. 3
■ 事業セグメント状況	p. 4
■ 資本状況	p. 7
■ 事業トピックス	p. 9
■ ESG課題への取り組み推進	p.12
■ ESG経営指標	p.14

## 対前年 +6.88億、 +26.3%の大幅増収、 営業利益ベースで黒字回復

当社スチュワード事業が業務を請負う全国のホテル約170か所のうち、宴会場・レストランを併設する32のホテルにおける当社調べの稼働対前年比(2023.1/2022.1比)、レストラン入客数 31.0%アップ、宴会入客数 2.1倍、婚礼宴会入客数 53.4%アップという数字に示されるように、ホテル・レストラン・観光・レジャービジネスの復調に牽引される形で営業収益は急伸いたしました。また、感染拡大防止策の徹底を継続するとともに、サービス事業の基本である安心・安全への不断の努力、過剰な消費の抑制や廃棄物の削減、従業員の働きがいや心理的安全性への配慮などにも積極的に取り組んでまいりました。

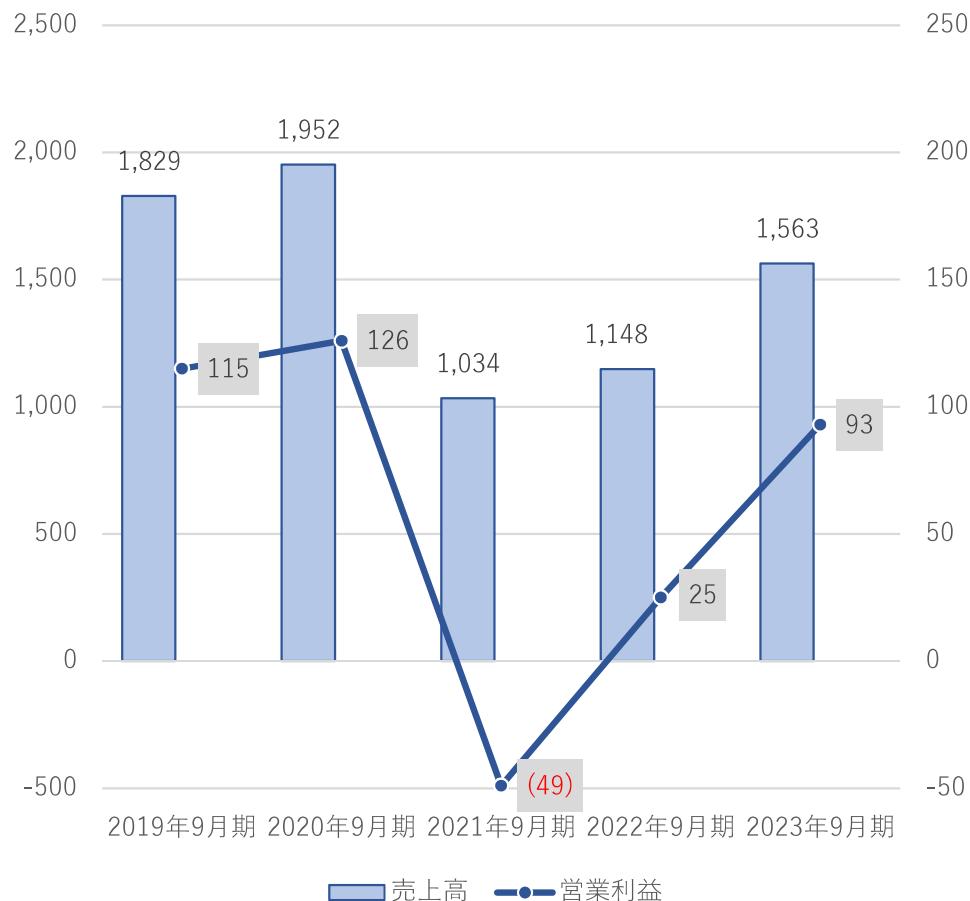
	2022年 9月期 1Q累計 実績	2023年 9月期 1Q累計 期初予想	2023年 9月期 1Q累計 実績	対前年 同期	対期初 予想	2022年 9月期 実績	2023年 9月期 予想
売上高 (百万円)	2,618	3,067	3,307	+688	+239	10,883	13,213
営業利益 (百万円)	▲59	▲6	21	+81	+27	▲186	138
雇用調整助成金 (百万円)	125	—	14	-110	—	260	—
経常利益 (百万円)	81	8	44	-36	+36	81	164
当期純利益 (百万円)	80	5	34	-45	+29	102	106

# スチュワード事業

## セントラルサービスシステム セントラルホテルサービス

ホテル、レストランにおけるスチュワード業務（食器・什器の総合管理業務、洗浄業務）  
ホテル、レストラン等の飲食施設における厨房清掃業務、厨房衛生管理業務  
ホテル・旅館等の宿泊施設における客室清掃業務  
商業施設・オフィスビル等における一般清掃業務  
病院・介護施設における食器洗浄業務、食器・什器備品管理業務

### 1Q累計実績推移（単位：百万円）



### マーケットの状況

- スチュワード業務 6 件、客室清掃業務 1 件を新たに開業
- 第 2 四半期以降の2023年 9 月期中の新規開業は、ラグジュアリーホテルやアミューズメントパークなど大型の案件を含むスチュワード業務10件、客室清掃業務 3 件を予定

### 取り組み状況

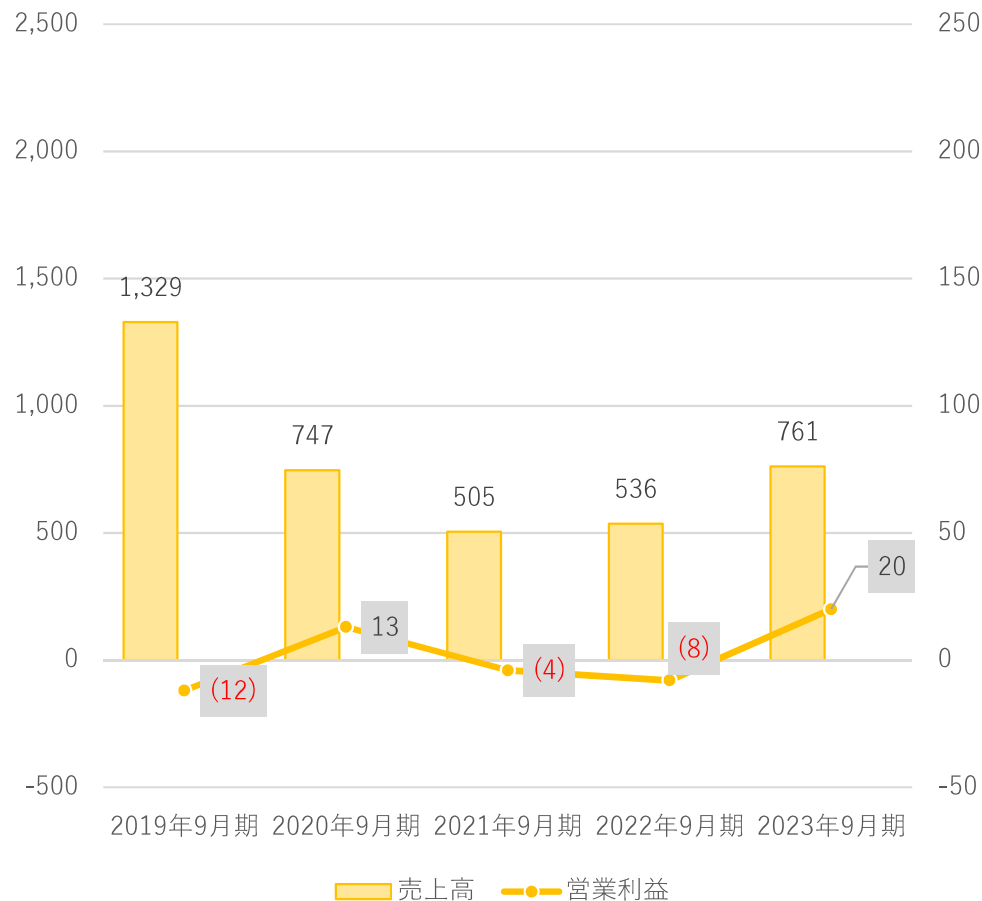
- HR 事業パートナーとの協業を進め、採用手法・教育活動を生産性の視点から検証しつつ改善を推進
- 人材育成および確保の状況を鑑みて営業活動を進め、開業予定計画を必要人員数に積算反映して採用活動を計画的に推進
- スチュワードノウハウを中心に、洗浄・清掃・衛生・管理・ESG・DX・コンサルのホテルレストラン業界および異業種や国内外からのニーズを検証、清掃ロボットのお客様環境における導入実験を準備

# フードサービス事業

## センダン

ホテル、企業の従業員食堂などの食堂運営を中心とするフードサービス業務  
宿泊特化型ホテルの朝食レストラン運営業務  
介護施設等の給食サービス業務  
レストラン等の料飲施設における衛生指導およびコンサルティング業務および衛生、防災関連商材の販売

### 1Q累計実績推移（単位：百万円）



### マーケットの状況

- 朝食レストラン5件、従業員食堂1件、ライフケアで1件(デイサービスにおける給食)を新たに受注、業務開始
- 第2四半期以降の2023年9月期中の新規開業は、既に3件の受注の新規開業を予定

### 取り組み状況

- 食材価格の高騰に対応して、提供価格アップへのご理解を概ねお客様から得ることができている
- その他、メニュー開発やSDGs観点を含む無駄の排除や調達工夫などを通じた収益コントロールの取り組みを、衛生の徹底とともに継続
- ライフケア事業分野は堅実着実に拡大へ

## 東洋メディアリンクス

### 音響特機

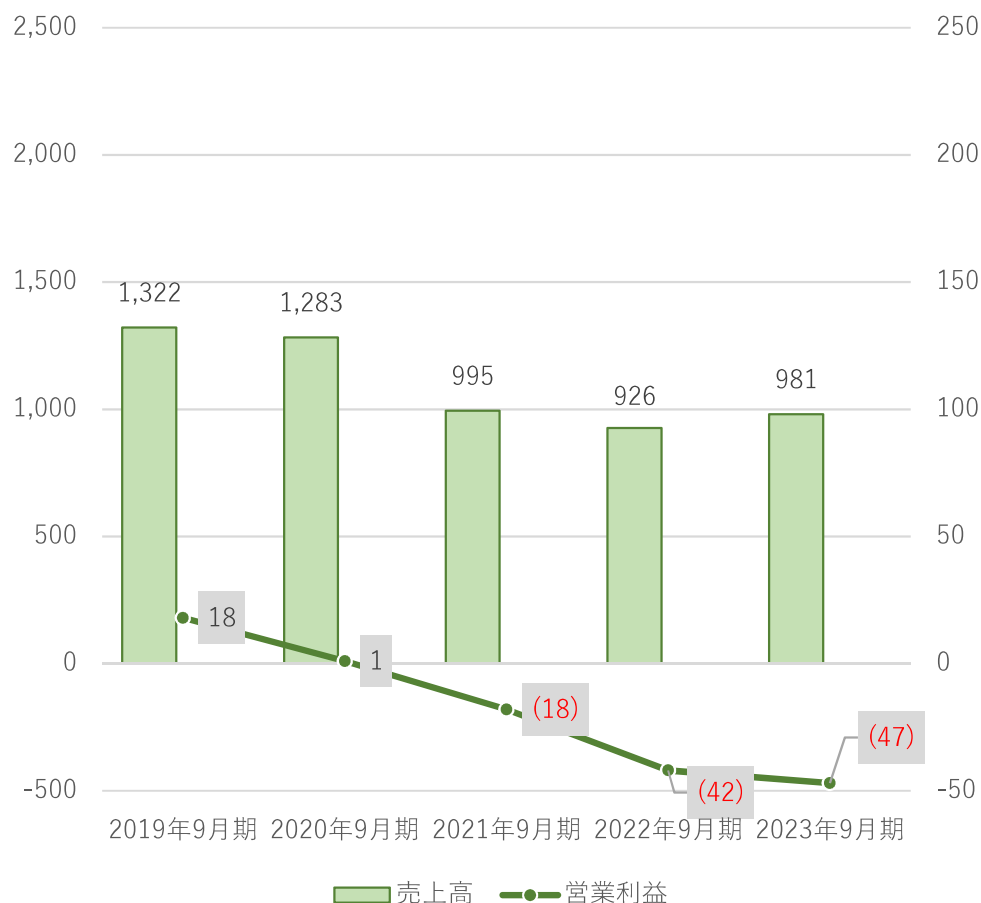
### Mood Media Japan

音響・映像・防犯カメラ設備の設計施工保守／BGM音楽・映像ソフトの企画制作販売／“香り”の企画販売

業務用音響機器の輸入・販売およびシステム設計・コンサルタント業務

商業空間向けのBGM音楽・映像コンテンツによるブランディング企画制作販売

## 1Q累計実績推移（単位：百万円）



## マーケットの状況

- エネルギーコスト及び物流費用の高騰や円安影響を受けて製品原価の上昇局面は、販売価格の改定および為替予約によって影響を最小化
- コロナ禍の消極的投資環境は年度末に向けて緩和傾向、商品入荷遅延に関してもブランドによる差異はあるものの改善傾向
- 年末の豪雪を伴う荒天によって金融機関向け監視カメラの一部地域の納品が遅れ、一括検収が第2四半期に期ずれ発生

## 取り組み状況

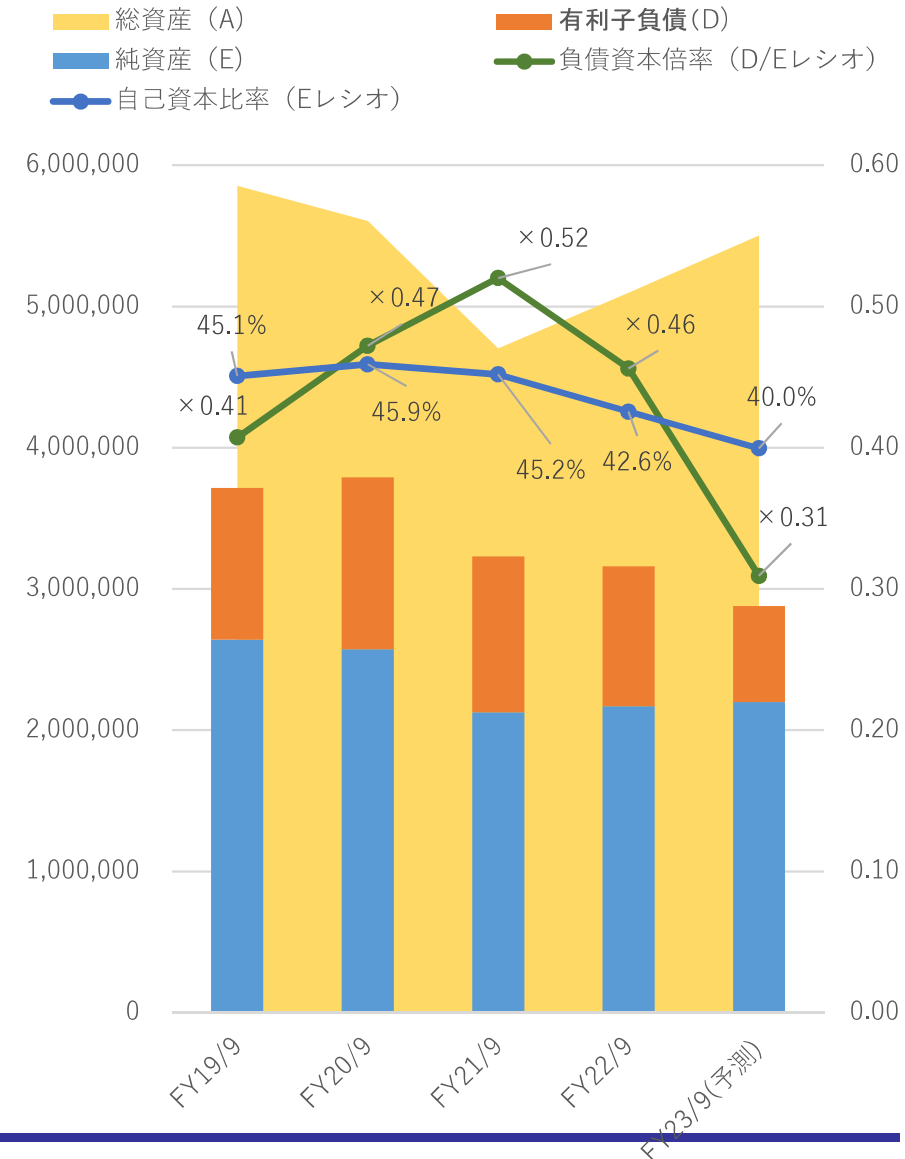
- 材料費上昇の傾向に対し、販管費の更なる縮小努力
- 円安影響は価格転嫁で吸収してリスクを回避済
- 「クロスメディア推進プロジェクト」をスタート、既存顧客のセキュリティカメラシステムに新たにAIを中心としたクラウドシステムを組み合わせることによる新たなソリューションや動画配信プラットフォームなどの企画、提案を推進へ



## 2024年9月期 目標財務指標

当期純利益 2.5億 ROE 8%以上

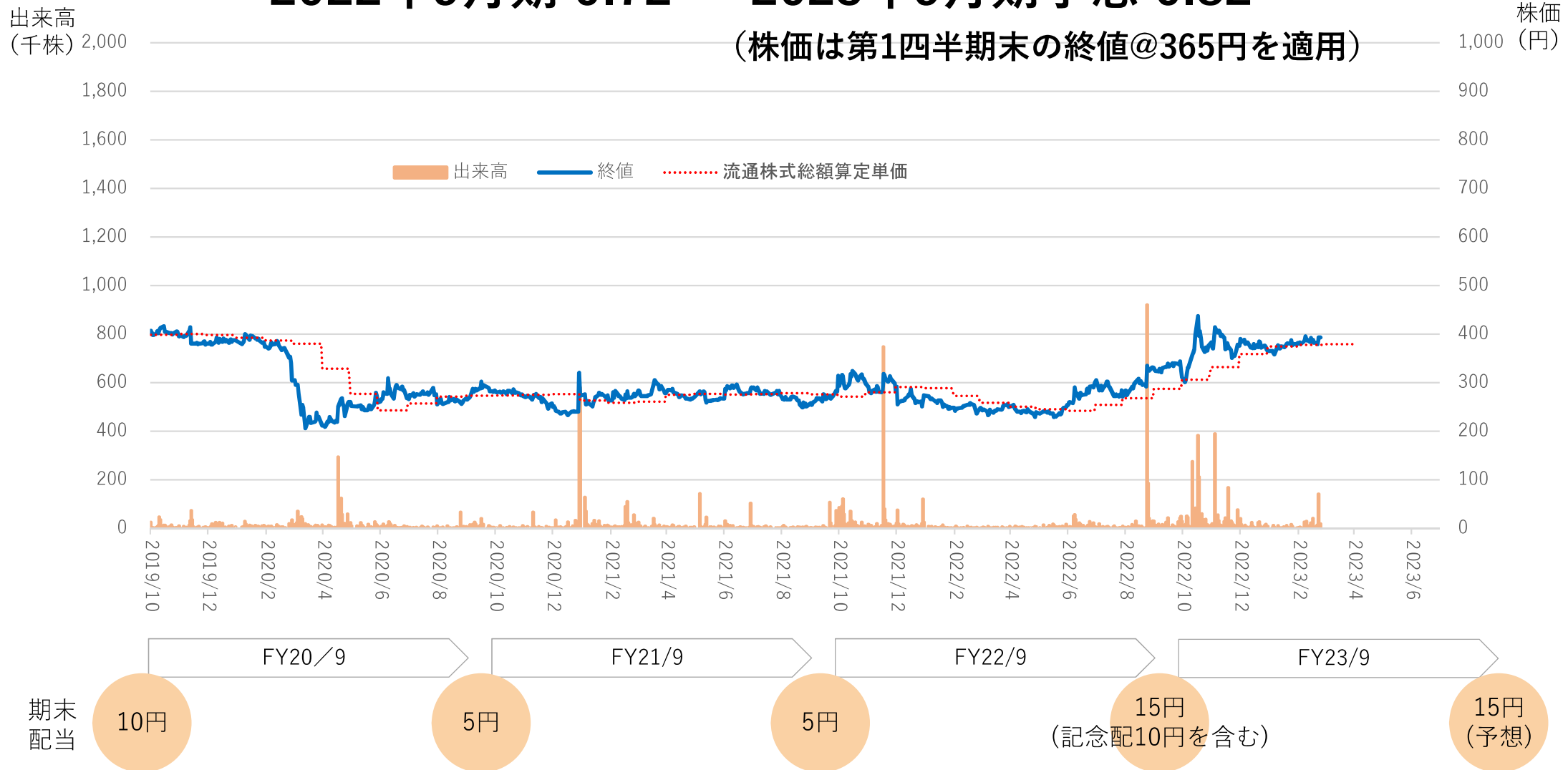
	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期	2022年 9月期	2023年 9月期 予想
当期純利益 (百万円)	-110	23	-420	102	106
有利子負債 (百万円)	1,075	1,215	1,105	989	680
純資産 (百万円)	2,639	2,573	2,124	2,168	2,198
総資産 (百万円)	5,855	5,604	4,701	5,096	5,502
自己資本比率	45.1%	45.9%	45.2%	42.6%	40.0%
D/Eレシオ	×0.41	×0.47	×0.52	×0.46	×0.31
ROE	-4.0%	0.9%	-17.9%	4.8%	4.9%



## 市場評価指標：PBR

2022年9月期 0.72 → 2023年9月期予想 0.82

(株価は第1四半期末の終値@365円を適用)





## 大阪支社開設いたしました



セントラルサービスシステム、セントラルホテルサービス、センダン、パトリオットボタンは、事業の拡大に伴い、新たに大阪支社を開設いたしました。大阪拠点の規模を拡張し、関西エリアのグループ従業員が一丸となる環境を整え、このエリアから新たな企業価値を創造・発信してまいります。



## 清掃ロボットの導入実験を開始



セントラルサービスシステム開発企画部では、客室清掃業務において清掃ロボットの導入実験を開始いたしました。ロボット導入による省人化や業務効率化を図るとともに、お客様の経営課題の解決への提案を推進してまいります。



## センダン新潟初進出！NASPAスキーガーデン ゲレンデ内レストランを新規受注



新潟県越後湯沢のスキー場、NASPAスキーガーデンは新潟県で数少ないスキー専用リゾート。ゲレンデ中腹にある開放的なレストラン「ガーデンレストハウス」の運営を受注しました。センダン定番から魚沼地方に伝わるご当地メニューなど、多彩なメニューでスキーヤーの身体を温めます。



## 「Inter BEE 2022」3年ぶりに出展



日本最大級のメディア総合イベント「Inter BEE 2022」に3年ぶりに出展。ブースではbiamp、EAW、MACKIE、QSC、RCF、ATLONA、SONANCE等のブランドを出展。各ブランドからも担当者が久々に来日され、来場者への対応等有意義な情報交流の場として自社ブランドをアピールしました。





## NICEアライアンス参画により AIを活用した提案を強化



スマートカメラ、IoT機器、サービスおよびアプリケーションを繋ぐエコシステムを提唱するNICEアライアンスに東洋メディアリンクスが参画いたしました。この参画によりAIプロトコルの活用と、世界的なリーディングカンパニーのプロダクトをいち早く協業、販売することが可能となります。今後、AIを活用した提案を強化し、よりスマートな未来の創造に貢献してまいります。

2023年2月15日  
株式会社CSSホールディングス  
代表取締役社長 水野 克裕  
(コード番号：2304 東証スタンダード)

当社子会社 東洋メディアリンクス㈱におけるNICEアライアンス参画のお知らせ

【質の高い「おもてなし」の創造】を理念とする当社、株式会社CSSホールディングス（本社：東京都中央区）は、スマートカメラ、IoT機器、サービスおよびアプリケーションを繋ぐエコシステムを提唱するNICE(Network of Intelligent Camera Ecosystem)アライアンスに、グループの中核企業としてBGMや監視カメラシステムの提供を業務としている東洋メディアリンクス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：村松充尚 以下「東洋メディアリンクス」）が参画したことをお知らせいたします。

この参画によって東洋メディアリンクスの既存のお客様はもとより、当社グループでサービスを提供している多くのお客様に向けてAIを活用した「おもてなし」の提案を図り、よりスマートな未来の創造に貢献して参る所存です。

詳細は、下記NICEアライアンス発表のプレスリリースをご覧ください。

**nice | Alliance**

東洋メディアリンクスとヘッドウォータースがNICE規格を採用。  
NICEエコシステムは業界を超えて先進的なAIベースのセキュアなサービス展開を加速

※2023年2月23日当社リリースより

## ■リサイクルユニフォームの導入検討開始



スチュワード事業では、環境に配慮したユニフォームを製造、回収を行う企業に賛同し、業務で着用し不要になったユニフォームを廃棄せず再資源化を目的とし回収業者へ送付しています。現在、当社グループ創業40周年に向けたユニフォームデザインのリニューアルとリサイクル素材を使用したユニフォームの制作を検討しています。この取り組みは、廃棄によるCO<sub>2</sub>削減や衣料品に使われる石油資源の使用量の削減に貢献することができ、また、従業員一人ひとりのSDGsに対する意識の醸成を図ります。

## ■新たに2店舗でフードシェアリングサービスの導入を開始



フードサービス事業で運営する朝食ブッフェレストランでは、HACCP衛生基準を保ちながら、フードシェアリングサービス「TABETE」の導入店舗を拡大しています。このノウハウを活かし、顧客へ積極的に提案することで、ホテル・レストランにおける食品ロス削減に貢献してまいります。



## ■環境に配慮した循環型食器の使用を開始



フードサービス事業では、環境配慮型メラミン食器の使用を開始いたしました。

木材パイルの代わりにもみ殻を使用した商品や、使用済みメラミン製品のリサイクルにより作られた商品を使用することで、廃棄物の削減やCO<sub>2</sub>排気量の削減、森林資源の消費抑制等に貢献するものです。多様な顧客ニーズに応える食の提案とともに、「環境配慮」という新たな付加価値を提供して参ります。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

CSSグループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



## S：人的資本への注目の高まり

- ・ 我々が目指す目標水準を考え、道筋を逆算する
- ・ 人的資本を活かすために何が重要で、何をするか

## G：実効性評価への対応

- ・ 成長戦略と資本効率性
- ・ ボードメンバースキルの多様性
- ・ 海外投資家への情報開示



(2022年9月末現在)



## 免責事項

本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## お問い合わせ

株式会社CSSホールディングス 経営企画室

TEL 03-6661-7840

FAX 03-6661-7841

E-mail [hld-info@css-ltd.co.jp](mailto:hld-info@css-ltd.co.jp)